

2017年11月22日(水)

225 写真ニュース

小田原で福島みずほ政治スクール開く
：社民党神奈川 教育宣伝委員会発行



小田原で「福島みずほ政治スクール」開く！

社民党神奈川写真ニュース

社民党神奈川は小田原地区を皮きりに「福島みずほ政治スクール」を再開しました。この後十一月二十八日(火)には横須賀「ヴェルクよこすか」で、また十二月十三日(土)には「カルツかわさき」で国会報告会を開きます。

十一月二十二日(水)夕刻、小田原市 UMEKO で講演会「福島みずほと語る秋のタベ」が開催されました。

講演に先立ち、JR小田原駅頭で福島みずほによる街頭宣伝を行い、衆議院選挙のお礼、国会報告、講演会参加のお願いなど訴えました。駅頭には、多くの人たちが立ち止まって耳を傾け、中には花束を差し出す男性もいました。

▼講演会では、まず戦後最大の危機の中にある憲法9条について、「議論が嫌いな安倍総理は最短で来年の六月、遅くとも総裁選

を経た来年の十月には憲法改正の発議を国会に提出するのではないかと述べ、「世界のどこでも自由に派兵し戦争ができる自衛隊を一刻も早く作ることを目的にしているのに違いない。また、緊急事態宣言案項については、国会議員しか作ることができなかった法律を内閣でも作れるようにするための法律で、これを認めてしまうと内閣の独裁を許すことになる。絶対に認めるわけにはいかない。」と述べ、「今どんな社会を目指すのか、給食無償化への取り組み、奨学金制度のあり方、ホワイトカラーエグゼンプション」などについて解説しました。最後にアメリカのサンダース、イギリス労働党のコービン、スペインのポデモスら社会主義義者が若者に良い影響を与えている現実について述べ、社会民主主義の優位性を訴えました。参加者は七十五名。

(早川)



講演する福島みずほ講師(参議院議員)



JR小田原駅頭での宣伝



いま憲法が危ない！と警鐘を鳴らす福島みずほ講師と参加者

社民党

